

富士山火山防災避難マップ

～もしもの噴火に備えて～

富士北麓版



富士山は、清らかな水や素晴らしい景観などを与えてくれる大切な山ですが、一方で、これから噴火をするかもしれない活火山でもあります。このマップは、富士山ハザードマップ検討委員会の検討成果、さらに山梨県による詳細な検討データをもとに作成したもので、噴火警戒レベルごとの避難方法などが記載されています。日頃から熟読していただき、もしもの場合に備えてください。

【発行】 富士山火山防災協議会・山梨県
＜協議会構成市町村：富士吉田市・富士河口湖町・西桂町・山中湖村・忍野村・鳴沢村・身延町＞
【協力・資料提供】 内閣府（内閣府防災担当）・総務省（消防庁）
国土交通省（河川局・気象庁・関東地方整備局・中部地方整備局・富士砂防事務所）
山梨県環境科学研究所
【監修】 荒牧重雄・池谷 浩・奥水達司・小山真人・宮地直道
【調査製作】（財）砂防・地すべり技術センター
【発行日】 平成18年3月 【印刷】（株）サンニ印刷
【修正日】 平成22年3月
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、20万分の1地勢図及び5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平17総復、第930号）

このマップで想定している噴火規模と現象

このマップでは、溶岩流、噴石、火砕流、融雪型火山泥流の危険地域を主に対象としましたが、火山灰などにも影響を及ぼす災害現象があるので注意しましょう。

○ 火山灰の影響について

- 富士山が噴火すると広い範囲に火山灰が降る場合があります。
- 火山灰は火口近くで厚く積もり、遠くに行くほど薄くなりますが、その分布範囲は風向きや風速、噴火規模によって大きく変わります。
- 火山灰が積ると、健康への悪影響や農作物の被害、交通障害、停電や家屋の倒壊などが起こりやすくなります。
- その後の降雨により土石流が発生しやすくなります。

○ 想定する噴火の規模

- 大規模噴火が起こる直前には前兆現象が観測される見込みがあるため、事前の避難が可能となります。
- 小規模の場合は前兆現象を見逃すこともありえますが、山麓の街への影響は小さいと考えられます。
- 実際に噴火した場合、現象の及ぶ範囲はマップに示した全地域ではなく、火口の位置によりその一部だけとなります。

役所から出される情報にしがたい、早めの避難を心がけましょう。

防災機関の連絡先

富士吉田市 安全対策課 0555-22-1111	鳴沢村 総務課防災担当 0555-85-2311	気象庁 甲府地方気象台 055-222-9101
西桂町 総務課防災担当 0555-25-2121	身延町 総務課防災担当 0556-42-2111	山梨県 消防防災課 055-223-1432
忍野村 総務課防災担当 0555-84-3111	富士吉田警察署 警備課 0555-22-0110	山梨県 砂防課 055-223-1710
山中湖村 総務課防災担当 0555-62-1111	富士吉田消防署 0555-22-0119	※道路情報の問い合わせ先
富士河口湖町 管理課防災担当 0555-72-1111	河口湖消防署 0555-72-0119	日本道路交通情報センター 055-232-5000

富士山火山防災協議会ホームページ(富士吉田市ホームページ内)

URL: http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=1638

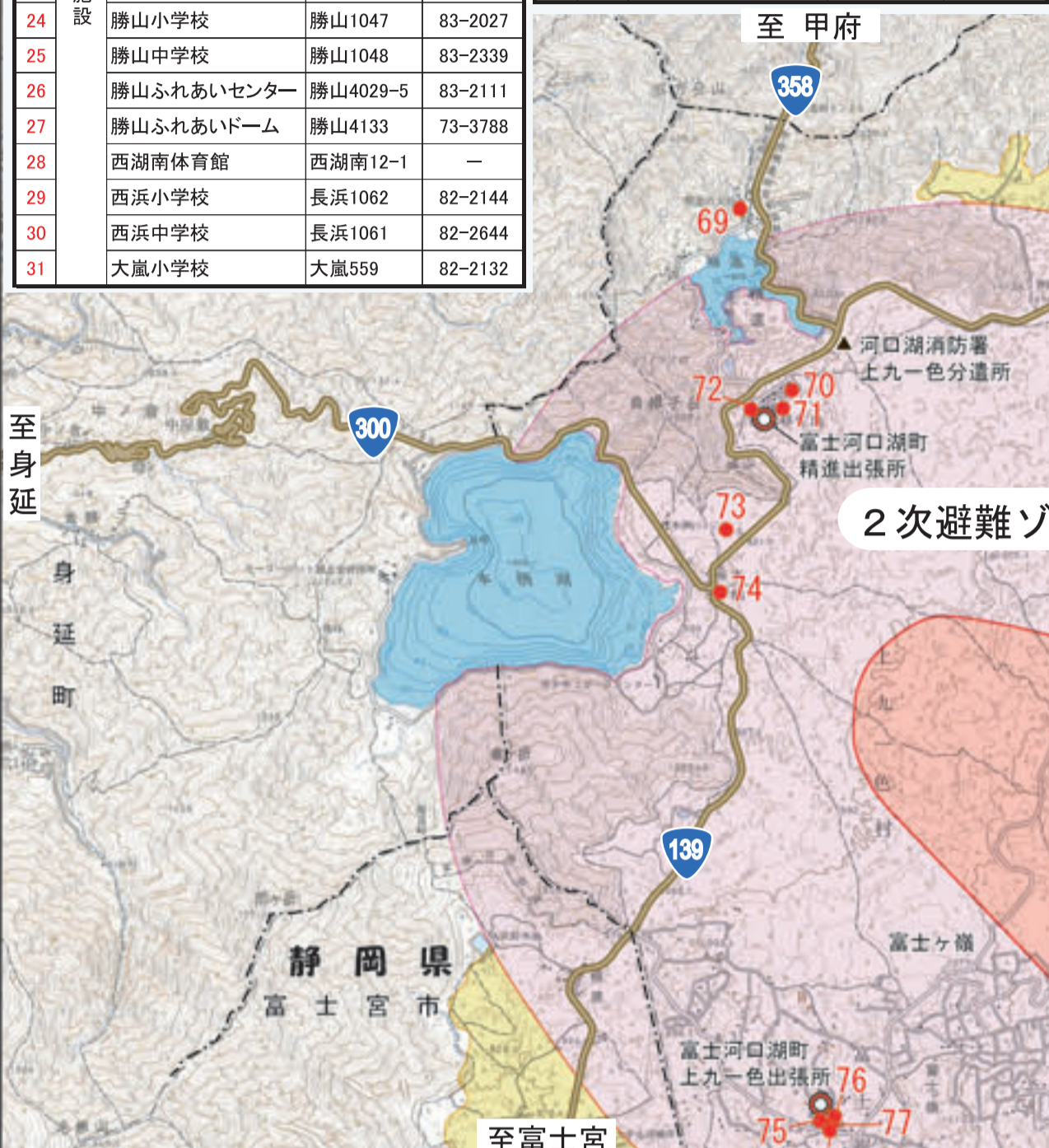


左のQRコードで携帯電話からでもご覧いただけます。

http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/div/bosai/html/kazan_kyougikai/kyougikai_i.htm

富士北麓版 避難ゾーン区分図

富士河口湖町 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
15		町民体育館	船津5542-1 73-1220
16		中央公民館	船津1747 72-0001
17		船津地区公民館	船津3737 -
18		船津小学校	船津3737 72-0052
19		河口湖南中学校	船津1164 72-1142
20		小立小学校	小立2446 72-1512
21		大石小学校	大石1425 76-7714
22		河口小学校	河口1560 76-7334
23		河口湖北中学校	河口3120 76-7324
24		勝山小学校	勝山1047 83-2027
25		勝山中学校	勝山1048 83-2339
26		勝山ふれあいセンター	勝山4029-5 83-2111
27		勝山ふれあいドーム	勝山4133 73-3788
28		西湖南体育館	西湖南12-1 -
29		西浜小学校	長浜1062 82-2144
30		西浜中学校	長浜1061 82-2644
31		大嵐小学校	大嵐559 82-2132



富士河口湖町(旧上九一色村地区) 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
69		精進公民館	精進159 -
70		精進本郷保育所	精進514-33 87-2352
71		精進小学校	精進514 87-2120
72		精進健康管理センター	本郷224 87-2402
73		上九一色中学校	本郷20 87-2350
74		本郷公民館	本郷331 87-2260
75		富士豊茂小学校	富士ヶ嶽1209 89-2113
76		富士ヶ嶽内ゲートホール	富士ヶ嶽1214 -
77		富士ヶ嶽保育所	富士ヶ嶽1212 89-2024
78		富士ヶ嶽公民館	富士ヶ嶽1212 89-2111

身延町 避難施設等一覧 (市外局番 0556)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
79		下部地区町民体育館	市之瀬1865-3 36-1532
80		下部中学校体育館	常葉1413 36-0353
81		下部地区公民館古閑分館	古閑2437 38-0151
82		古閑体育館	古閑118 38-0101

鳴沢村 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
60		大田和公民館	鳴沢村3864 85-2104
61		JJAなるさわ大田和支所	鳴沢村3198 85-2009
62		鳴沢村総合センター	鳴沢村1451-21 85-3300
63		鳴沢小学校	鳴沢村1585 85-2015
64		鳴沢村保健センター	鳴沢村1584 85-5008
65		山道ホール	鳴沢村748-1 85-3400
66		JJAなるさわ本所	鳴沢村711-1 85-2411
67		鳴沢村民体育館	鳴沢村8531-95 85-2861
68		なるさわ富士山博物館(フジエボックホール)	鳴沢村8532-63 20-5600
108		福祉施設 特別養護老人ホーム 富士山荘	鳴沢村5061 85-2878

図の見方と記号の意味

- 1次避難ゾーン** 火口ができる可能性の高い範囲です。この範囲に必ず火口ができるとは限りません。
- 2次避難ゾーン** 噴火しそうなる時、噴火が始まった時すぐに避難が必要な範囲を示しています。噴火した場合に下の3つのどれかに当てはまり、すぐに危険になる範囲です。
 - 火口から噴出した石がたくさん落ちてくる範囲（この範囲以外にも、まれに10cm未満の小石などが飛ばされることもあります）
 - 火砕流が発生した場合に、高温のガスが高速で届く範囲
 - 溶岩が流れ始めた場合に、すぐ到達するかもしれない範囲（3時間程度を想定）
- 泥流避難ゾーン** 富士山に雪が積もっている時期に噴火が始まった時、すぐに避難が必要な範囲を示しています。融雪型火山泥流が短時間のうちに到達する可能性のある範囲です。
- 3次避難ゾーン** すぐに危険にはなりませんが、火口位置によっては避難が必要な範囲です。公的機関から出される避難情報に注意して下さい。また、避難に人の手が必要な方は早めの避難が必要です。溶岩が流れ続けた場合に、1日ぐらいで到達するかもしれない範囲を示しています。

- 1～82 避難施設位置
 - 101～108 福祉施設位置
 - 201～202 おもな病院位置
- 番号は避難施設等一覧表に対応しています。

富士山が噴火しそうになったら、だれが、いつ、どこから、どうやって避難をすればよいの？

① 噴火警戒レベル3

富士山の火山活動が活発になり、防災上注意する必要がある場合には、気象庁から噴火警戒レベル3が発表されます。

1次避難ゾーンでの登山や観光は自粛しましょう。

② 噴火警戒レベル4

さらに活動が活発になり、噴火の可能性がでてきた場合には、気象庁から噴火警戒レベル4が発表されます。

1次避難ゾーンにいる観光客や登山者は、ただちに避難しましょう。

2次避難ゾーン、3次避難ゾーンにいる人も避難の準備をしましょう。

特に、避難に人の手が必要な方は、あらかじめ危険な範囲（2次～3次避難ゾーン）からの早めの避難が必要です。

③ 噴火警戒レベル5

火山現象による災害から人の生命および身体を保護するために必要がある場合には、気象庁から噴火警戒レベル5が発表されます。

観光客や登山者は、できるだけ危険な範囲から遠ざかりましょう。

市町村からの避難勧告や指示にしたがって、当面危険な範囲（2次避難ゾーン）から避難しましょう。

3次避難ゾーンにいる人にも避難準備や帰宅、観光の自粛をおすすめします。

火山活動が急激に活発化した場合には、いきなり噴火警戒レベル4や5が発表されることもあります。富士山に雪が積もっている時期（概ね10月～5月）は、「泥流避難ゾーン」は「第2次避難ゾーン」と同じ扱いになります。

→ 気象庁からの噴火に関する情報に注意し、市町村からの避難情報にしたがって、落ち着いて行動をしましょう。

西桂町 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
38		西桂小学校	小沼1874 25-2028
39		西桂中学校	下墓地961 25-2346
40		避難施設 西桂保育所	下墓地964 25-3255
41		YLO会館	下墓地948 25-2841
42		いきいき健康福祉センター	下墓地920 25-4000

富士吉田市 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
1		市民会館	緑ヶ丘5-23 23-3100
2		下吉田第二小学校	緑ヶ丘8-2 22-0093
3		下吉田中学校	下吉田886 22-0468
4		横立吉田高等学校	下吉田2075-1 22-2540
5		下吉田東小学校	下吉田4844 23-7831
6		吉田西小学校	新西原3-7-1 24-0305
7		横立富士北麓高等学校	新西原1-23-1 22-4161
8		吉田中学校	吉田1-3-6 22-0586
9		吉田小学校	上吉田1-1 22-0266
10		横立ひばりが丘高等学校	上吉田3531 22-8015
11		朝見中学校	小朝見2327 22-0184
12		朝見小学校	小朝見2113 22-0425
13		富士豊台中学校	上郷地1-6-1 24-0018
14		富士小学校	上郷地1-22-1 23-3544
101		介護老人保健施設 白樟荘	新屋1552-3 24-4211
102		特別養護老人ホーム 慶和荘	上吉田4584 23-3000
103		特別養護老人ホーム 寿荘	下吉田7575 20-1727
104		特別養護老人ホーム 芙蓉荘	松山1613 22-5524
201		病院 富士吉田市立病院	上吉田6330 22-4111

忍野村 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
56		内野コミュニティ供用施設	内野501 84-2949
57		忍野コミュニティ供用施設	忍野834 84-1417
58		村民体育館	忍野1600-39 84-2991
59		忍野小学校	忍野1516 84-2024
60		忍野中学校	忍野1666-36 84-2923
107		福祉施設 特別養護老人ホーム いちいの木忍野村内野3572-1	84-1215

山中湖村 避難施設等一覧 (市外局番 0555)			
No.	区分	施設名	所在地 電話番号
43		紅富士の湯	山中865-776 20-2700
44		山中保育所	山中865-282 62-0179
45		山中小学校	山中705 62-0078
46		山中湖公民館	山中448 62-4386
47		山中湖中学校	山中341-40 62-0103
48		中央公民館	平野506-296 62-1118
49		山中交流プラザ	平野479-2 20-3111
50		山中湖村コミュニティセンター	平野283 65-7750
51		石新の湯	平野1450 20-3355
52		平野保育所	平野1997-1 65-8542
53		栗小学校	平野2169 65-8152
54		長池コミュニティセンター	平野3305 62-3448
106		福祉施設 介護老人保健施設 山中あずきの森	山中1069-3 63-2333

最新の火山情報は気象庁のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.jma.go.jp>

忍野村版 富士山火山防災避難マップ

図の見方と記号の意味

雪の時期
泥流避難ゾーン 富士山に雪が積もっている時期に噴火が始まった時、すぐに避難が必要な範囲を示しています。
 融雪型火山泥流が短時間のうちに到達する可能性のある範囲です。

年間
3次避難ゾーン すぐに危険にはなりません、火口位置によっては避難が必要な範囲です。公的機関から出される避難情報に注意して下さい。また、避難に人の手が必要な方は早めの避難が必要です。
 溶岩が流れ続けた場合に、1日ぐらいで到達するかもしれない範囲を示しています。

降灰後数年間
土石流避難ゾーン 火山灰が厚く積もっている場合には、大雨警報が出た時に避難する必要があります。火山灰が厚く(10cm以上)積もっている地域では少しの雨でも土石流が発生しやすくなりますので注意しましょう。

- 1～8 忍野村指定避難場所
 - イ～ル 避難施設
 - A～D 忍野村ヘリコプター発着場所
- 記号番号は下記の一覧表に対応しています。

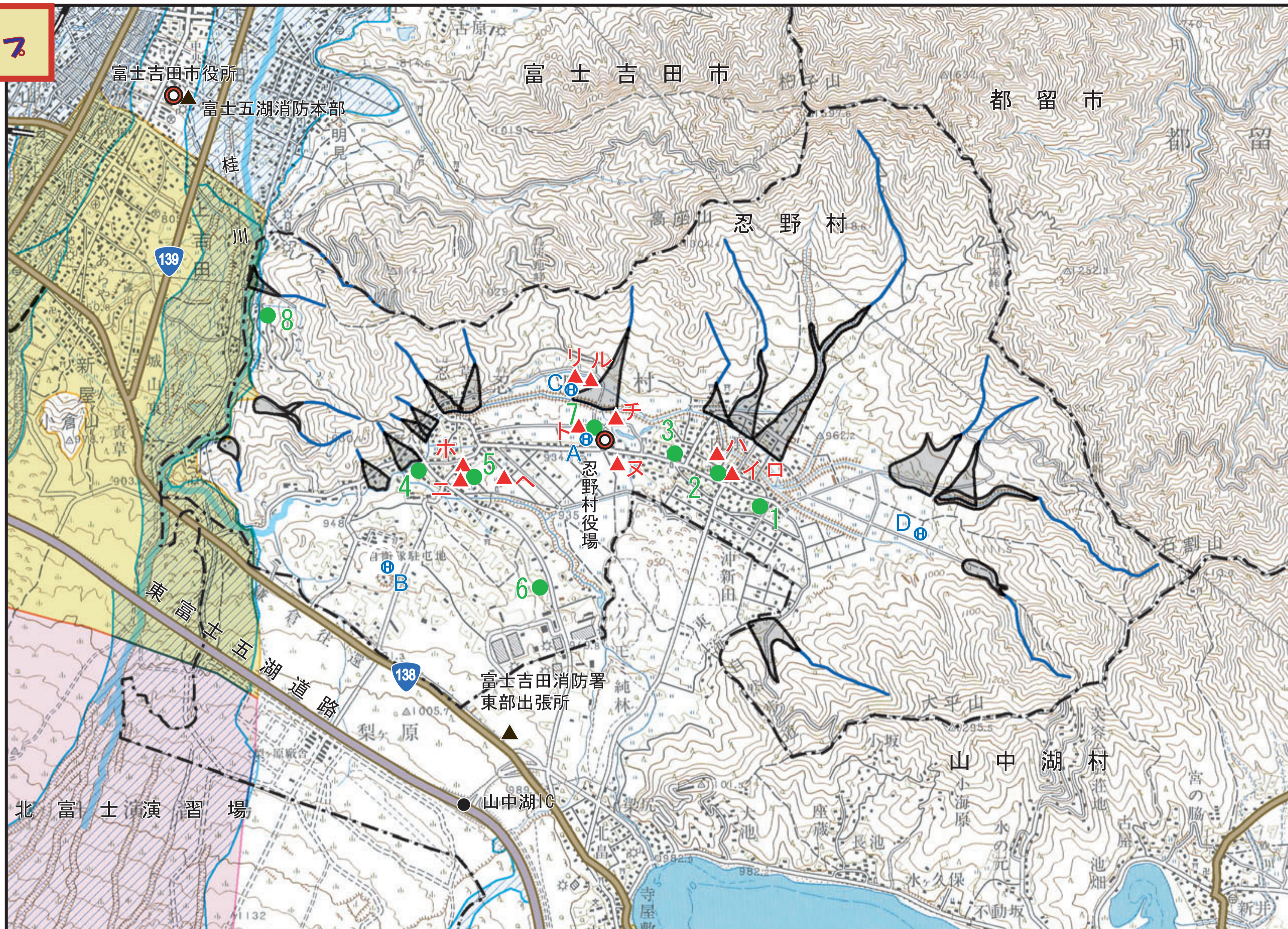
桂川沿いにお住まいの方は融雪型火山泥流に注意が必要です。気象台の火山情報、役場から出される情報にしたがい早めの避難を心がけましょう。

指定避難場所及び避難施設一覧

忍野村指定避難場所	
1. 天狗社境内	【対象地区：内野9～12組】
2. 内野区会事務所前	【対象地区：内野1組・内野6組～8組】
3. 承天寺	【対象地区：内野2組～5組】
4. 橋向広場	【対象地区：忍草1組～5組】
5. 忍草コミュニティ	【対象地区：忍草6組～8組】
6. 柳原公園	【対象地区：忍草5組及びファナック】
7. 小学校校庭	【対象地区：忍草9組～10組】
8. 自治館前	【対象地区：平山自治会】

避難施設名			
【対象地区：内野地区】		【対象地区：忍草地区】	
イ. 内野コミュニティ	84-2049	ニ. 忍草コミュニティ	84-4167
ロ. 内野老人福祉センター	84-2856	ホ. 忍草老人福祉センター	84-3773
ハ. 内野保育所	84-2104	ヘ. 忍草保育所	20-5071
【対象地区：村内全域】			
ト. 忍野小学校	84-2024	ヌ. 忍野幼稚園	84-3637
チ. 村民体育館	84-2891	ル. 村民ふれあいホール	84-3604
リ. 忍野中学校	84-2023	忍野村役場	84-3111(代)

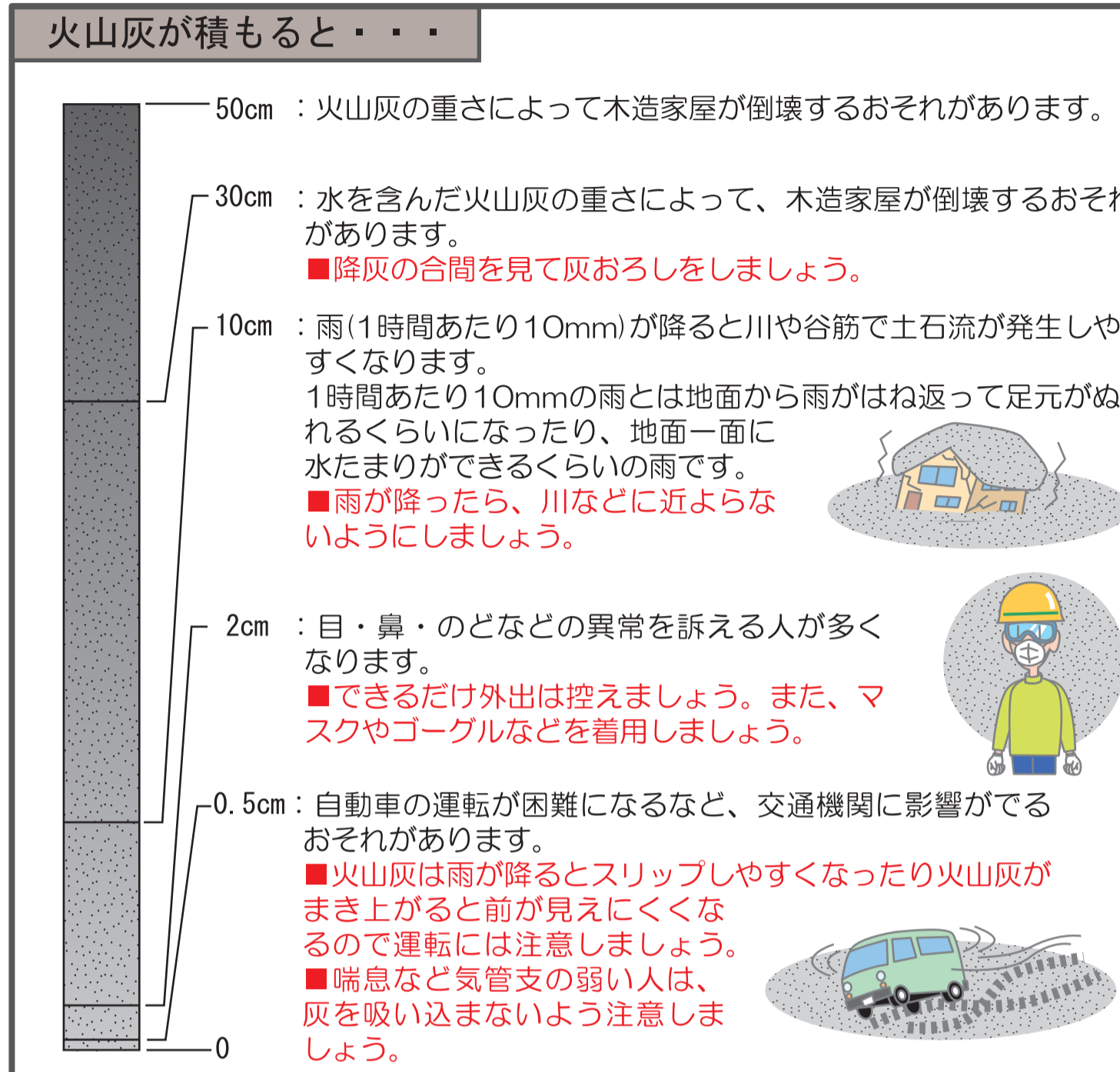
忍野村ヘリコプター発着場所	
A. 忍野小学校グラウンド	C. 忍野中学校グラウンド
B. 陸上自衛隊北富士駐屯地	D. 忍野村内野ため池広場



土石流

凡例

 土石流が流下する溪流
 土石流が氾濫する範囲
 火山灰が積もった地域では、少量の雨でも土石流の発生する恐れがあります。噴火中・噴火後の降雨には十分注意をし、むやみに沢や谷には近づかないようにしましょう。また、噴火が起こらなくても、大雨の時には発生するかもしれません。気象情報等に注意して下さい。



火山防災避難マップについて・・・ Q&A

・富士山はいつ噴火するの？
 わかりませんが、過去2200年間に75回程度の噴火があり、前回の宝永噴火以来、約300年もの間、噴火していません。近年、富士山周辺では地下のマグマの動きによると思われる小規模な地震がしばしば観測されています。こうしたことから、富士山もすぐにはありませんが、いつかは噴火するとみられています。

・富士山はどんな噴火をするの？
 過去2200年間はすべてが山腹噴火でした。また、多くの火山灰をだし、復興に30年以上の年月をついやした宝永噴火や青木ヶ原溶岩が流れ出た貞観噴火のような大規模噴火は2%であり、ほとんどが小規模噴火です。よって、統計的にみて、山腹から小規模の噴火が起こる可能性が高いといわれています。しかし、宝永噴火以来300年間も沈黙しているため、エネルギーをため込んでいる可能性もあり、油断は禁物です。

・噴火しそうな時や噴火が始まった時には何に気をつけたいの？
 もしも富士山に異変があれば、気象庁から火山情報が発表されるので、テレビやラジオなどから正確な情報を得ることが重要です。避難や避難準備が必要になったときは、市町村から指示があるので、デマにまどわされず、あわてずに落ち着いて行動するようにしましょう。

・噴火に備えて何をしておけばいいの？
 富士山が活火山であることや、どのような災害が考えられるかを知り、家族や地区で避難と連絡の方法を事前に話し合っておくことが大切です。また、非常持ち出し品をリュックサックに入れて普段から準備しましょう。

・融雪型火山泥流ってなに？
 火山災害現象のひとつです。雪が積もっている時期に火砕流(細かく砕けた岩石が高温のガスとともに斜面を高速で流れ下る現象)が発生すると、雪が一気に溶けて斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。富士山に雪のある時期、特に2～4月は最も積雪が深いため、この時期に噴火が起こったときには注意が必要です。

災害用伝言ダイヤル (毎月1日には、体験サービスがあります。(1月1日は除く))
 避難時の安否情報の確認には、NITの『災害用伝言ダイヤル』が便利です。
 局番なしで171にかけて 知人の安否情報を確認 できます。
 自動アナウンスにしたがって簡単に 自分のメッセージを録音

災害用伝言板(携帯電話) (毎月1日には、体験サービスがあります。(1月1日は除く))
 「災害用伝言板」は、自分が被災地にいる場合に、携帯電話から伝言板に自分の安否情報を登録し、家族や知人が携帯電話やインターネット上から確認できるシステムです。

避難に備えて準備しましょう。

■避難のときの持ち出し品

普段から防災用具をチェックし備えましょう！！

- ヘルメット
- マスク
- ゴーグル
- 衣類
- 水・非常食
- 常備薬
- 雨具類
- 防寒具類
- 携帯ラジオ
- 通帳・印鑑・カード
- 毛布・タオル
- 電池・ライター
- 乳児用品
- 介護用品
- 救急用品
- 懐中電灯・ロウソク
- 現金・貴重品
- その他

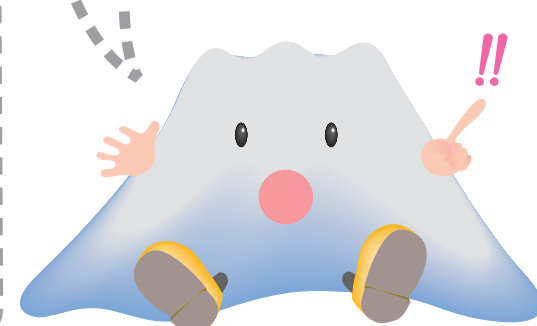


大切です！

自らの安全は自ら確保するという災害に備えての心構えが大切です。

確認しよう！

このマップは火山活動によって身近に危険がせまる時を想定して作成したものです。皆さんが住んでいる場所や勤めている会社の場所などによって避難の仕方が変わります。ふだんから家族やまわりの人達といざという時のために話し合っておきましょう。



避難する場合は、以下に注意しましょう。

■忘れてませんか？

- 戸締まり、電気、ガスの元栓を確認しましょう。
- 貴重品は忘れずに持参しましょう。
- 非常持ち出し品を確認しましょう。
- 外出中の家族のために、避難先を書いたメモを残しましょう。



■避難する場合は・・・

- 市町村役場や消防団などの指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
- お年寄り、赤ちゃんのいる人、体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。
- 小石が降ってくることもあるので、ヘルメットなどで頭を守りましょう。また灰を吸い込まないようにマスクやゴーグルをつけましょう。
- くぼ地には有毒ガスがたまりやすいので、近づかないようにしましょう。



■家族で確認しましょう

- 避難場所までの経路を確認しましょう。
- 常に家族全員で避難できるとは限りません。お互いに職場や学校での避難場所や連絡方法を確認しましょう。

■噴火しそうな時、噴火が始まった時には

- 気象庁が発表する火山情報に注意しましょう。
- デマや噂に惑わされないようにしましょう。
- テレビやラジオのニュース、新聞、村の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。
- 避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

